

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 25 日 (日)

試合時間：17:20～

主審：神丸 一祐

副審：川島 司

東海大学九州	○ 97	25	—1st—	20	● 81	九州産業大学
		21	—2nd—	15		
		27	—3rd—	23		
		24	—4th—	23		

第 1 ピリオド

東海大 # 2 長野の華麗なアシストに # 2 3 趙が合わせ、試合の幕が開ける。ここから東海大のオフェンスは勢いづき、開始 3 分で 10-0 と九産大を突き放す。東海大の勢いを止めたい九産大は、残り 6:12、タイムアウトを請求する。しかし、タイムアウト後も試合は東海大ペース。東海大 # 2 長野がシュートを決め、相手に付け入る隙を与えない。中盤、# 1 3 上良の 1 対 1 により、九産大がようやく 2 点を手にする。その後は、途中出場の # 6 2 喜久山の活躍により、九産大が差を縮め、25-20。東海大が 5 点をリードし、第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

序盤から、東海大のアウトサイドシュートが冴え渡る。# 2 1 谷里、# 2 長野が 3 P シュートを連続で決め、主導権を掴む。離されたくない九産大は、# 3 0 松川、# 2 4 金城が中心となりゲームメイクする。2 人のパスに # 2 9 船越が合わせ、インサイドで得点していく。九産大の追い上げにも動じず、東海大は # 2 長野がアシストを量産し、# 6 小澤や # 2 3 趙が次々にシュートを沈めていく。46-35、東海大が点差を広げ、前半を終える。

第 3 ピリオド

序盤、東海大は # 2 長野を起点とし、アーリーオフェンスを展開していく。対する九産大は # 2 9 船越にボールを集め、インサイドアウトからシュートを狙うも、得点に繋げることが出来ない。中盤、東海大は # 8 佐竹が 4 連続得点。# 2 3 趙の 3 P シュートも決まり、一気に九産大を突き放す。流れを変えたい九産大は # 1 1 金丸を投入する。連続で 3 P シュートを決め、ベンチの期待に応える。しかし点差は縮まらず、73-58。東海大がリードし、勝負は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

開始早々、追いつきたい九産大は # 3 0 松川、# 5 8 鈴木が連続得点を決め、逆転へ望みを繋げる。その後も九産大は、# 4 7 宮崎が得点を重ねていくも、東海大 # 2 長野が冷静な判断でディフェンスをかわし、3 P シュートを沈める。終盤、両チームベンチメンバーが中心となり試合を組み立てる。九産大は # 7 7 入部の連続 3 P シュート、# 9 米須のトリッキーなアシストからの # 3 3 比嘉のシュート等で点差を縮める。しかし東海大が最後まで逃げ切り、97-81 で勝利を収めた。